暖流コース　１Ｈ

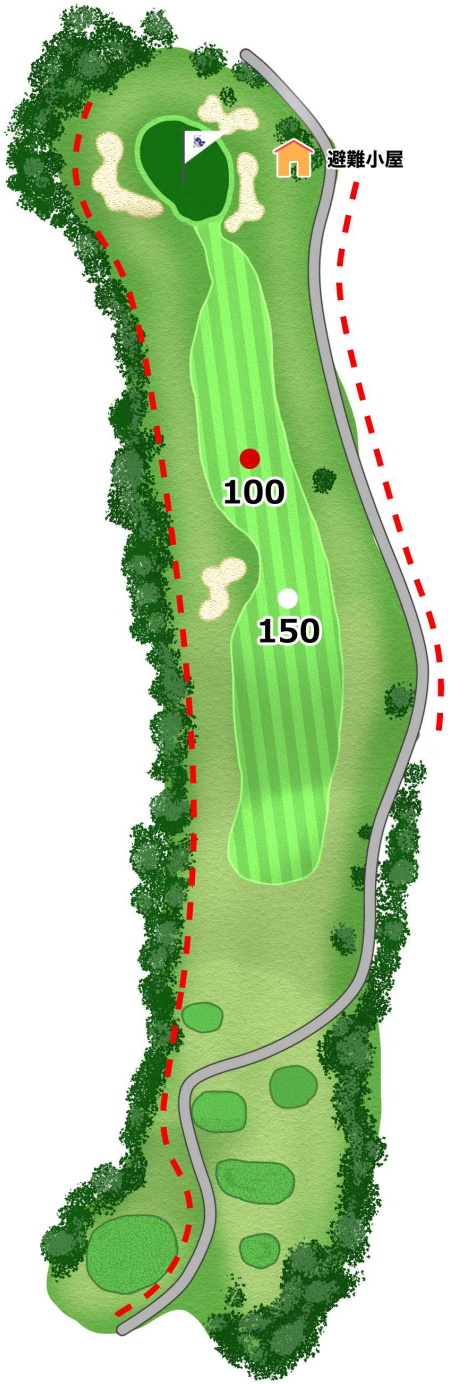
PAR 4 HDCP 6
BT 410 RT 385 FT 360 LT 325

コース戦略

ほぼストレートでさほど距離も長くないが、第1打目を左サイドのバンカーに入れないように気をつける。グリーンは手前から奥へ受けており、ピンより手前を狙うことをお薦めする。グリーン周りのバンカーに入れると難易度が増すので、手前からアプローチした方が攻略しやすい。

グリーン

左手前から右奥に向かっての受けグリーン。カップより右や奥からのパッティングは下りになるので注意する。



暖流コース　２Ｈ

PAR 3 HDCP 8
BT 220 RT 190 FT 160 LT 135

コース戦略

打ち下ろしのショートホール。グリーンに大きなアンジョレーションはないが、縦幅が40ヤード以上あり、ピンポジションによって使用クラブが大きく変わってくる。打ち下ろしのロケーションで風の読みが重要となるが、1番ホールのピンフラッグを参考にジャッジしてもらいたい。

グリーン

縦幅42ヤードの大きなグリーン。ロングパッドでも大きくは曲がらないが、ショートパッドの傾斜が読みづらい。

暖流コース　３Ｈ

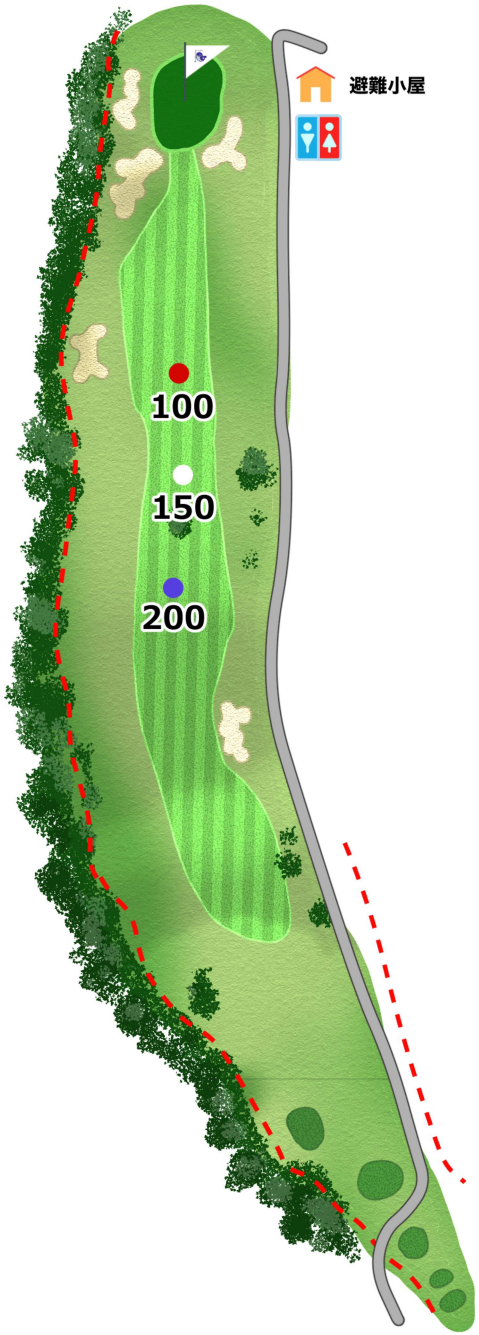
PAR 5 HDCP 2
BT 555 RT 510 FT 470 LT 440

コース戦略

かるい右ドッグレッグのロングホール。ロングヒッターは第一打目を右サイドのバンカー越えを狙わないと次打が大きな木が邪魔になり狙いづらい。
100ヤード地点からも見た目以上に打ち上げがあり、ピンポジションが手前の時は番手を上げたクラブで打つことをお薦めする。

グリーン

左手前から右奥にかけて尾根があり、ピンサイドの面にボールを止めたい。



暖流コース　４Ｈ

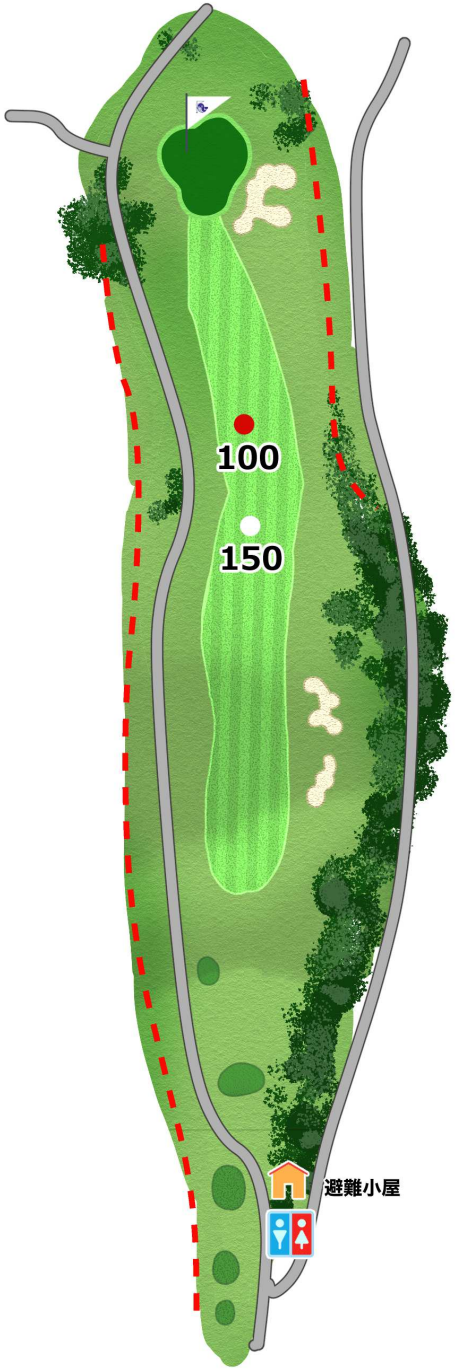
PAR 4 HDCP 1
BT 470 RT 420 FT 375 LT 335

コース戦略

ティーグラウンドからの見通しがよく、フルスイングできるホール。距離が長く2打目も打ち上げになるので無理にパーオンを狙うと大叩きに繋がりかねない。手前からアプローチでもいいくらいの気持ちで挑んでもらいたい。

グリーン

左半分はほぼフラット、右半分は右から左へ少し傾斜がある。奥にこぼすと見た目以上に下っていくので注意。



暖流コース　５Ｈ

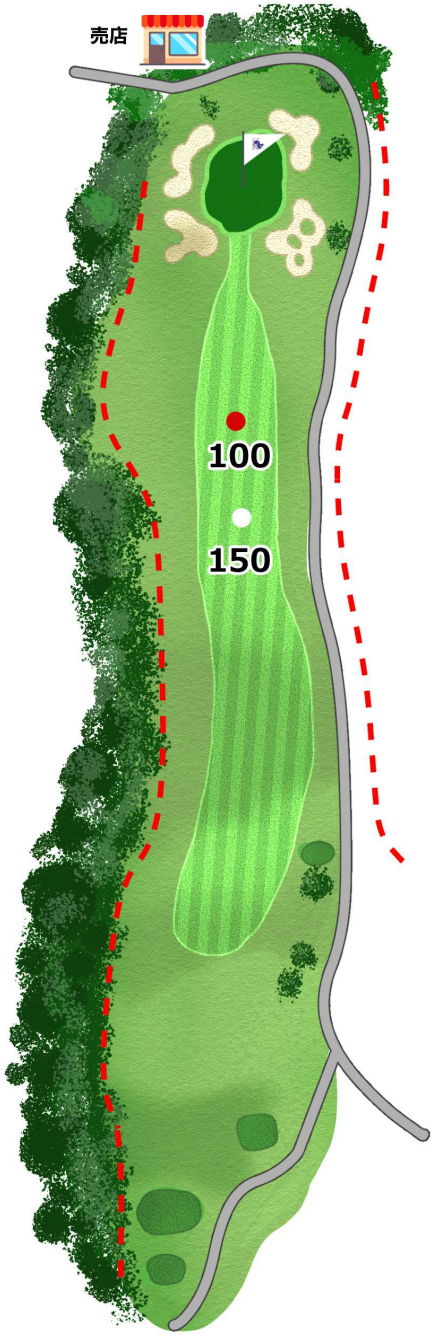
PAR 4 HDCP 3
BT 435 RT 405 FT 360 LT 260

コース戦略

バックティー、レギュラーティーからは左山裾狙いがベスト。ロングヒッターは右ラフ方向に打つと、突き抜けてOBになる可能性がある。グリーンは受けているのでボールは止めやすい。

グリーン

左奥と右奥にマウンドがあり、奥からのアプローチは難しい。ピン位置がどこにあってもセンターに乗せると攻略しやすい。



暖流コース　６Ｈ

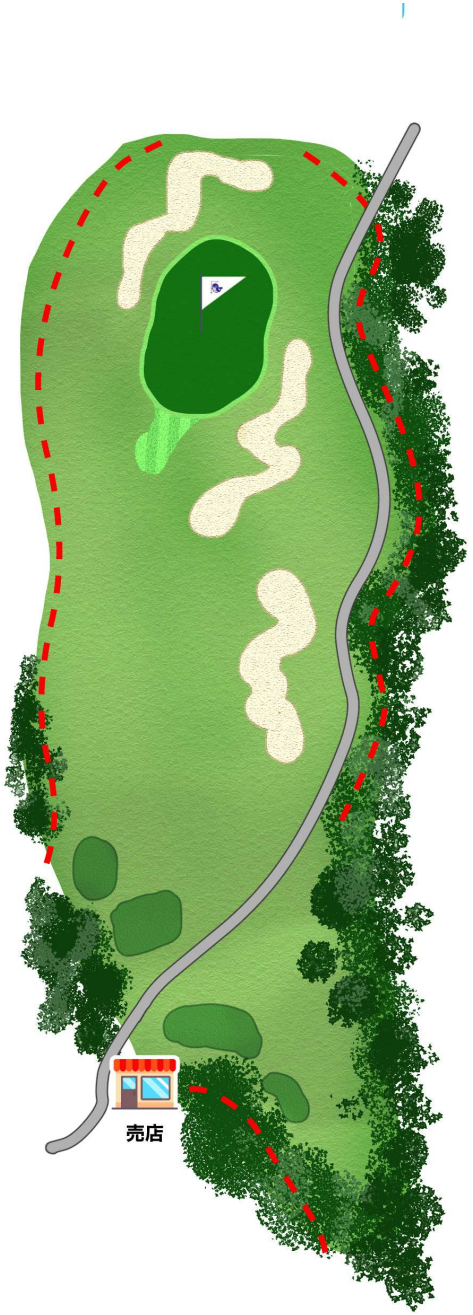
PAR 3 HDCP 9
BT 190 RT 165 FT 140 LT 125

コース戦略

距離が短く、一息つけそうなショートホールだが、グリーンが砲台になっていて、乗らなかった場合はアプローチの技術が試される。グリーン左のグラスバンカーに入れるとさらに難易度が増す。

グリーン

グリーンセンター付近に左サイドから右サイドまで窪みがあり、プレーラインにかかると距離感やラインを合わせづらい。



暖流コース　７Ｈ

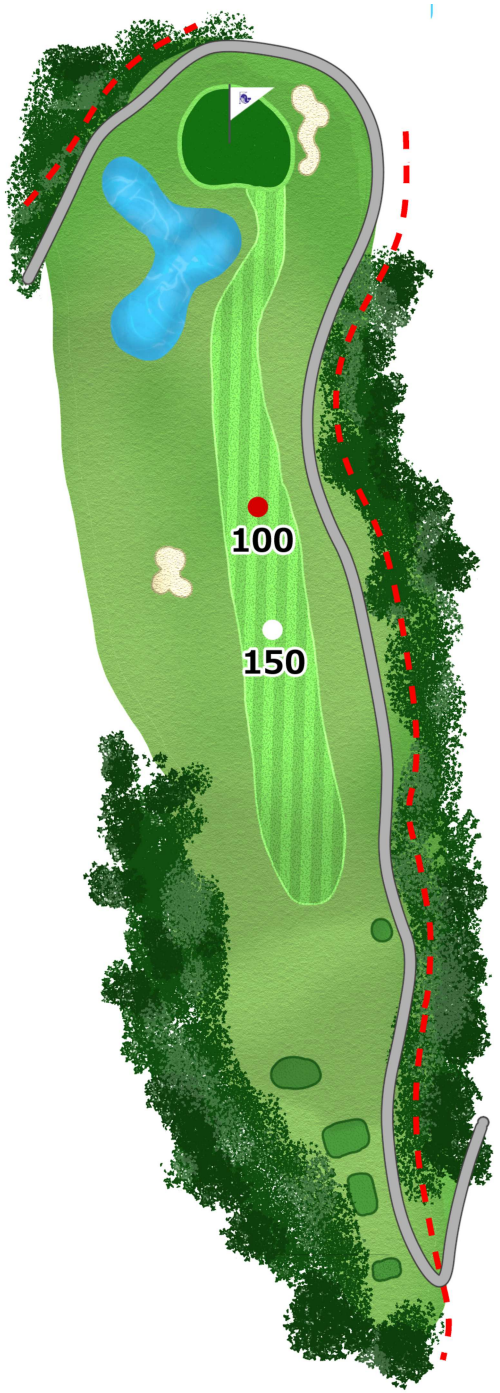
PAR 4 HDCP 7
BT 410 RT 370 FT 340 LT 325

コース戦略

ストレートで打ち下ろしのミドルホール。残り90ヤード地点の左サイドに大きな池があり、レギュラーティーから260ヤードで入る可能性がある。また、左サイドのバンカーに入ると次打が池越えになるので避けておきたい。

グリーン

左手前から右奥にかけてグリーンを分断するように尾根がある。勾配が比較的急なのでカップのある面に乗せたい。



暖流コース　８Ｈ

PAR 4 HDCP 5
BT 400 RT 370 FT 340 LT 310

コース戦略

ティーグラウンドに立つと、右のバンカーが目に入り、力みが生じやすいがレギュラーティーから200ヤードで越える。右にOBが出やすいホールなので強振してOBになる事だけは避けたい。次打は打ち上げになるので、1クラブ大きめのクラブで攻めたい。

グリーン

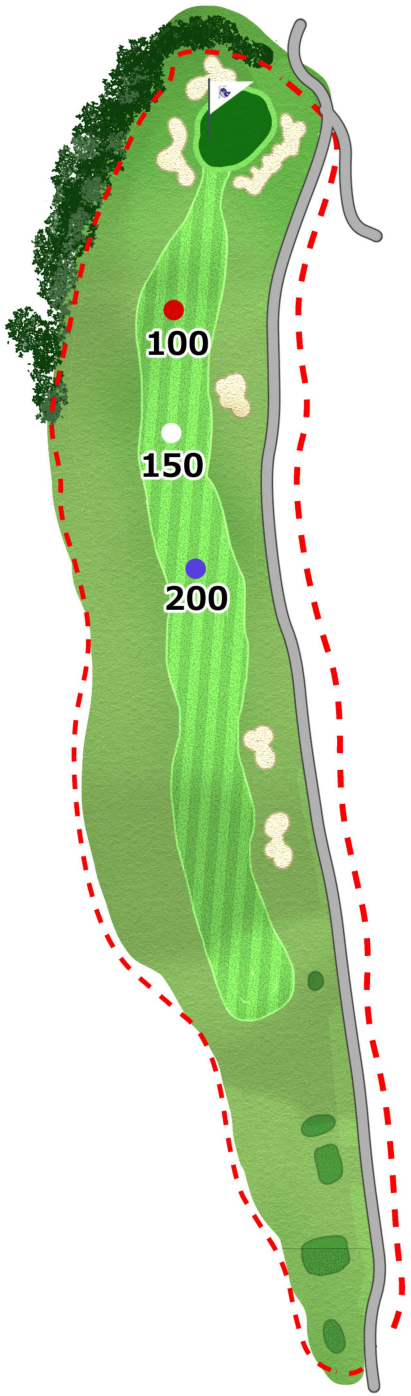
全体的にフラットに見えるグリーンだが奥から下っている為、ピンより奥から打つパッティングは距離感を合わせづらい。

暖流コース　９Ｈ

PAR 5 HDCP 4
BT 565 RT 530 FT 495 LT 470

コース戦略

このホールは全体的に左サイドが受けており、「左から左から」を心がけていれば大怪我はしにくいだろう。右サイドはカート道より右はOBになる可能性が高いので要注意。ピンを右サイドに切っているときは、右手前のバンカーはきいており、距離感を合わせづらい。

グリーン

グリーンを左右に分断する尾根がセンターラインにあり、ピンサイドに乗せておきたい。